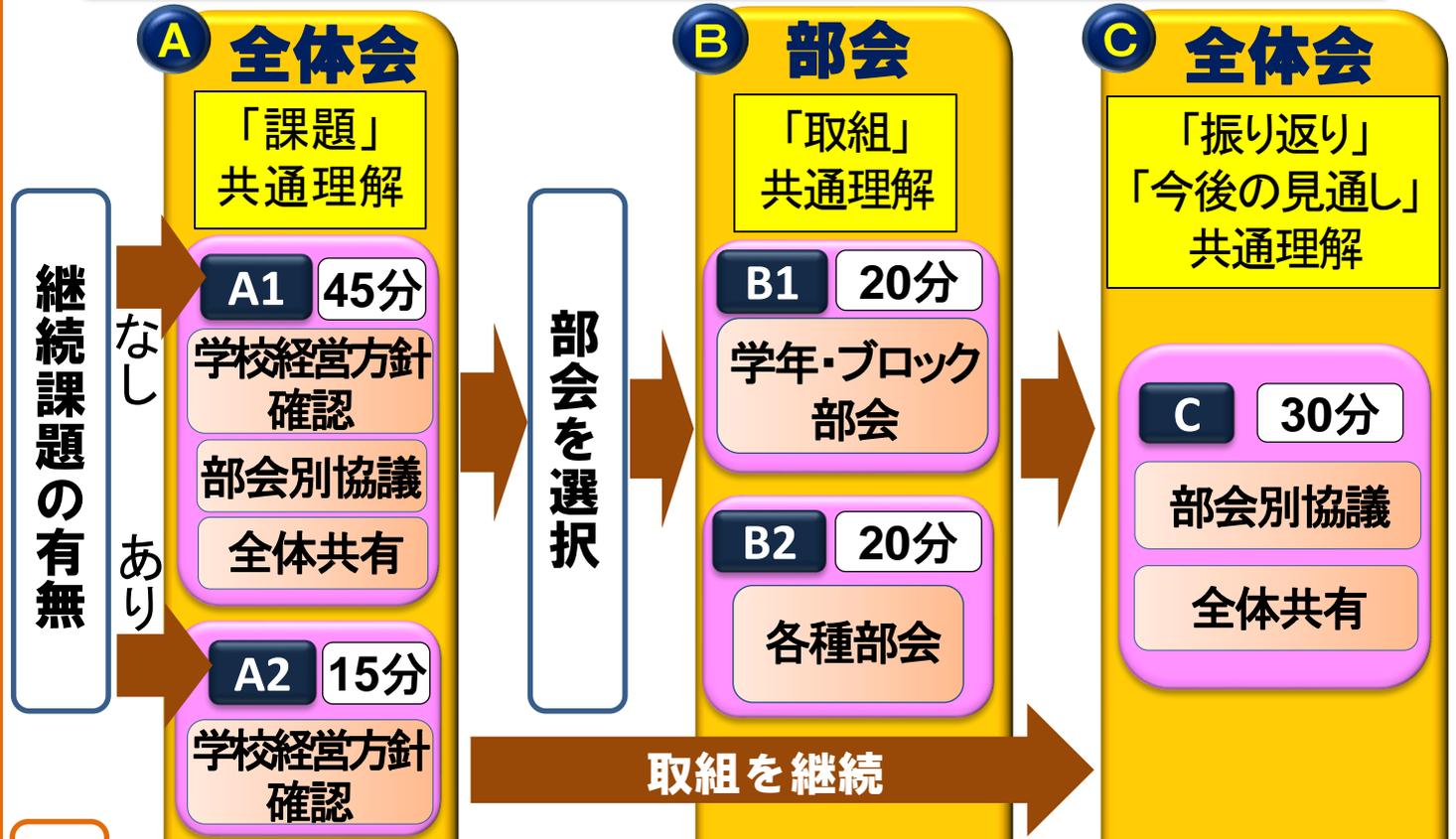


全教職員で主体的に取り組む学校保健活動を目指して
 —保健主事がマネジメントする
 校内研修プログラムの作成と活用を通して—

研究構想図

長期研修員 井堀 尊義

保健主事がマネジメントする「校内研修プログラム」



意識が高まる
 課題を出し合う

主体的に取り組む
 取組を出し合う

意欲的に取り組む
 振り返り見直しを出し合う

ボトムアップによる話し合い

- すぐに使えるプレゼン資料
- ワークシート

保健主事の役割:ファシリテーター

- 校長に学校経営方針や学校保健に関する話を依頼
- 保健部員又は各種主任に部会別協議の進行を依頼
- 専門知識のある教職員に説明を依頼



学校保健活動の現状

〈教職員の現状〉
 何をすべきかよく分からない
 担当者から指示を受けて取り組む

〈保健主事の思い〉
 どのように推進すれば
 よいのか分からない

「学校保健に関する校内研修を位置付けることが重要」
 (「保健主事のための実務ハンドブック」文部科学省)

子供たちの様々な健康課題

実践

校長先生、全体会で学校保健に関する学校経営方針の確認をしたいと思っています。お話いただけますか。



学年ごとに話し合い、保健部の先生が進行役で意見をまとめます。担任に登校後や給食の様子を聞いて話し合いを進められるようにしましょう。

A1

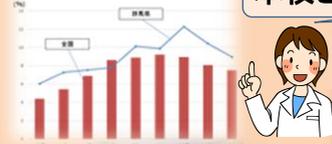
45分
8月実施

学校経営方針を確認しましょう。

各学年の健康課題を全教職員で共通理解しましょう。

登校後の児童の様子は？
休み時間の様子は？
給食の様子は？

肥満出現率 群馬県と全国比(29年度)



本校と県、全国の肥満出現率を比較したデータです。



クラスに野菜を一口も食べない子がいます。

栄養教諭としては、たくさん食べるだけではなく、バランスよく食べるのが大切だと考えます。

- 全員参加のワークショップ形式は意識を高める上で有効である。
- 校内研修で健康教育について取り組むのであれば、見通しをもって進めた方がよい。
- 忙しい中で新しい取組を始めるのは大変だと思う。(アンケートから)

全体会

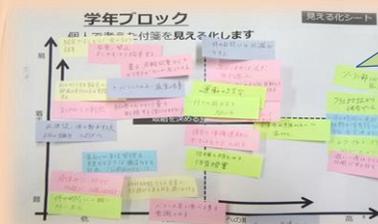
B1

20分
9月実施

健康課題は、「肥満傾向」と「休み時間に体を動かしていないこと」です。「取組」を付箋に書いて出し合しましょう。

普段の取組を大切に実現性が高い「取組」を決めていきましょう。

学年・ブロックごとに課題を改善するための「取組」をみなさんで考えます。自分たちで実践できる実現性が高い無理のない取組になるよう話し合しましょう。



早食いはよくないです。よくかむよう指導しましょう。

- 共通理解の基、方向性を同じにして取り組むことはとてもよい。
- ブロックでの話し合いは有意義だ。(アンケートから)

学年・ブロック部

C

30分
11月実施

校長先生、学校保健活動を振り返り、児童の活動や先生方の支援について講評をしていただけますか。

「児童の変容」や「オススメの取組」を協議し、紹介しましょう。

今後も子供たちの健康のために無理なく取り組んでいきましょう。

振り返りをします。事前にワークシートを配付しますので、児童の変容やオススメの取組を整理しておきましょう。

1年生では、偏食が多かった児童について協議しました。給食で苦手なものを減らしてから食べ始めることで、食べられるようになりました。

- 学校保健を研修で取り組むことで意識の高揚を図れた。
- 意識が高まることにより取組も主体的になった。(アンケートから)

全体会

成果と課題

- 保健主事が教職員ときめ細かく連携を図り、校内研修を進めたことで、教職員一人一人の児童の健康課題改善への意識が高まった。また、教職員が実現性の高い取組を考え、主体的な学校保健活動につながった。
- 保健主事向けにプレゼン資料を作成したことに加え、教職員の役割を明確にし、見通しをもてるような工夫が必要である。

提言

学校教育課題を解決する上では、全教職員で共通理解を図ることが大切である。保健主事が推進する校内研修プログラムについて、全教職員で共通理解を図った上で、課題を解決していくことにより、健康教育の一層の充実が期待できるであろう。